

今、気になる障害福祉施策等の動向について

- ◆【国】
 ◆食事提供加算
 報酬改定で、食事提供加算の廃止問題は、全国の様々な団体や当事者の多大な声が反映して、次年度からの廃止をせず経過措置の延長となりました。
 ◆入院中でのヘルパー利用
 法改正で、次年度から実施予定の入院中のヘルパー利用は「区分6」の重度訪問介護対象者の方に限定された内容が示されました。
 ◆グループホームでのヘルパー利用
 経過措置の延長で、引き続きグループホーム利用者のヘルパー(居宅介護等)の利用については可能となりました。
- ◆【愛知県】
 ◆グループホーム運営補助金
 グループホームの休日や余暇支援のための支援体制確保の愛知県独自支援策の拡充、定員20名以上のホームも補助対象にする等について、進んだ自治体の事例も調査して検討されると回答があった、きょうされん愛知支部との懇談会以後どのように進捗しているか…気になります。
- ◆【一宮市】
 ◆第5期一宮市障害福祉計画
 素案が公開されています。3つの重点戦略の中に、行動障害や医療的ケア等による支援の度合いが高い人の日中活動の場や暮らしの場と支援体制の確保、充実についての記述が無いことが気になります。

きそがわ福祉会だより

地域の中でともに育つ事業所めざして 2018年2月15日発行 No.103

一宮市北方町中島に新設

「なごやかホーム」(グループホーム・定員7名(内1名体験))

平成29年12月1日開所しました



(仲間・職員の声より)

- ・開所後2ヶ月がたち、新しいホームでの暮らしも少しずつ慣れてきました。
- ・体験利用の居室があり、今後にむけてホームの体験をしています。
- ・スタッフも少し落ちついてきて、これからのホームでの取り組み、仲間の皆さんがホッと、くつろげるホームになるように、力を合わせていきたいです。

地域の皆様、繋がりのあるすべての皆様
どうぞ宜しくお願い致します

発行：社会福祉法人きそがわ福祉会

〒493-0006 愛知県一宮市木曾川町内割田一の通り12番地3

電話 0586-86-3960 FAX 0586-86-3937



△一宮市北方町北方勅使の地域で新築直前の(仮称)勅使ホームIIの起工式の様子

(仮称)「勅使ホームII」起工式

△1月9日(火)に(仮称)「勅使ホームII」建築起工式が行われました。

当日は大変寒い日でしたが、設計をされた設計工務店様、施工業者の(株)賀賀田工務店様を始め、きそがわ福祉会からは理事長、理事、監事等関係者が参加し、神主の進行により滞りなく工事の安全と、グループホームの繁栄をお祈りすることができました。

消防法の関係等で、従来の賃借物件で運営しているホームをそのまま使用することが困難となり、移転して今年6月に再スタートする構想です。新築(仮称)「勅使ホームII」の完成を心より祈願した起工式となりました。

「障害特性」職員研修開催

今年度の第5回目テーマは「脳性まひ」
 平成29年度の職員研修計画に基づき、今年度第5回目の障害特性に関する研修を実施しました。「発達障害」「自閉症」「強度行動障害」「てんかん」に続き今回は「脳性まひ」がテーマでした。

前半は脳性まひに関する映像や資料をもとに職員がチャーターとなり基本的な障害特性について報告し、後半は脳性まひのある利用者との関わり方、2次障害について、利用者本人の思いや願いを実現するためには…の3つの事例でグループ交流しました。

この研修は、日頃なかなか交流できない法人内の各事業所職員が事例をもとに意見交流できる貴重な機会にもなっています。



△1/29 職員研修の様子(於:本部多目的室)

黒田ドリーム作業所に異国のサンタ登場！

12月22日黒田ドリーム作業所のクリスマス会が行われました。仲間・職員共に当日迄の食事、大道具等の役割を決めて準備開始！準備段階では、サンタさんに自分達の欲しいプレゼントをお手紙に書いて届ける事も行いました。

ついに、クリスマス会当日！煙突から登場したのは中国からのサンタさん！そしてなんと！！中国語でやり取りを行いました。事前に挨拶の練習をしていた仲間は「ニーハオ！」とても上手に話し、サンタさんも大喜び！サンタさんに中国の場所を地図で説明してもらったり、お手紙がちゃんとサンタさんに届いたか



聖誕節快樂！
(メリークリスマス)

サンタさんに聞いてみたりとサンタさんと楽しいお話をした後、仲間一人一人に大きな袋から取り出されたプレゼントが手渡されました。名前も中国語で呼ばれ、希望のプレゼントをもらった仲間は笑顔でサンタさんに「謝謝！（ありがとう）」とお礼を伝えました。美味しいケーキも食べ、とても賑やかで楽しいクリスマス会となりました。

来年はどんなサンタさんが来てくれるかな？



KurodaFutabaWakaba KurodaFutabaWakaba KurodaFutabaWakaba KurodaFutabaWakaba KurodaFutabaWakaba KurodaFutabaWakaba KurodaFutabaWakaba KurodaFutabaWakaba

cafe KURODA お疲れ様会

一日の取り組みで、12月は1年間の頑張ったお疲れ様会として、電車に乗り名古屋セントラルタワーズに出掛けました。クリスマスイルミネーションがとてもキレイで感動！みんなで記念撮影もしました。バイキングのお店では、仲間がそれぞれにお皿を手にし何度も行き来しながら、天ぷらやウィンナー、カレー、パスタ、プリン、ジェラート…と好きなものをお腹いっぱい食べました。



「もう食べられない！」という声も聞かれ、ランチの時間をめいっぱい楽しみました。1年の疲れも吹っ飛ばすくらい、心も大満足の取組となりました。

今後も様々な場所に楽しみながら出かけて、色々な交通手段も試したりして、経験を増やしていけたら・・・と思います。

美味しそう！



“地域のすみずみ”に支援の輪が広がる！！

…福祉制度充実の大切さについて地元中学生の方が授業で報告…

【私たちの地域での署名活動】

12月の障害者週間の直後、「きそがわ福祉会全体の取組で、なごみの広場周辺の地域の家々やお店等に訪問させて頂き、国の障害福祉制度の充実を求める「きょうされん」第41次国会請願署名の協力依頼活動を行いました。2〜3人の組みを10グループ程つくり、たくさんの方々の地域の人々との対話を進めていく中で、地域の方々の日頃からの障害者福祉への思いをお聞きしたり、暖かい激励の声等も頂き大変貴重な取組みとなりました。

【私たちの活動が地域の新聞で紹介され】

その取り組みを通して地域の方から非常に印象に残ったお話を聞きましたので、一つ紹介させて頂きます。それは、先にイオンモール木曾川店様のご協力をいただき実施した当該署名活動（きょうされん愛知支部尾張ブロックの「がんばるDAY」の活動）が中日新聞尾張版に掲載され、その記事を地元の中学生の方が取り上げられて授業で発表をされたとお話を聞いたことでした。障害のある人の所得保障等について地域の方々が問題意識を持たれ、学校の授業で障害福祉制度の充実をめざすことの大切さを中学生の方が述べていただいたことです。

【地道な日常活動が地域のすみずみまで世論を広げる】

今回のように想像もしていない所まで支援の輪が広がり、私達の考え・思いに共感していただける方々の輪が広がっている事を知り、私は、何事においても地道に行っている日常の取組の大切さを改めて強く感じました。(K・R)

きょうされん第41次国会請願署名の

請願項目は以下の5つです

1. 障害のある人が家族に依存することなく、自らが希望する自立した生活が送れるよう、所得を保障し、生活を支援する制度を確立してください。
※テーマ「障害のある人の所得保障」
2. 深刻な職員不足の解決に向けて、一般労働者の平均賃金より月10万円も少ない福祉職の給与を増額するよう、報酬体系を抜本的に見直してください。
※テーマ「福祉労働者の給与保障」
3. 障害のある人が、65歳を超えても必要とする制度を原則無償で使えるよう、障害者総合支援法の介護保険優先原則を廃止してください。
※テーマ「障害のある人の65歳問題」
4. 地域活動支援センターについては、安定した運営ができるよう、国がその実情を把握し、国の責任で予算確保のための措置を講じてください。
※テーマ「地域活動支援センター問題」
5. 障害者権利条約でうたわれた『他の者との平等』の権利を保障できるよう、障害関連予算の配分率を先進国の平均値なみに引き上げてください。
※テーマ「障害関連予算の配分率問題」



△12/5 イオンモール木曾川店さんのご協力でお店出入り口付近で署名活動を実施させていただきました(きょうされん愛知支部尾張ブロックの取組)

私たちはなぜ署名活動を進めるのか

- ◆ 国の障害福祉制度の充実を求めるから
- ◆ 障害福祉制度を学び、その課題を知りながら日々の営みを続けたいから
- ◆ 学んだことを人々と会話して支援者の輪を広げていきたいから